

事務事業名		育児支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	0:4: 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目					
	施策名	1:5: 子育て支援の推進				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成9 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:1: 子どもの心身の健やかな成長支援					01	04	01	01	26
根拠法令											
所属	部課名	生活福祉部国保年金課(保健介護センター)									
	係名	保健指導係	電話 内線	0192-27-1581 437							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(期間限定複数年度のみ)				
のびっこ教室 乳幼児が心身ともに健やかに育つことを目的に、発育・発達相談や育児不安を持つ母親に対して気軽に相談できる場を確保し、のびのびと子育てができるように支援する。相談の場の提供を行い、母子ともに楽しく参加できるように配慮している。 毎月1回開催。午前10時~10時30分受付。 主な業務は、開催日程の計画、広報への掲載依頼、育児相談員への協力依頼、会場準備、育児相談、育児相談員とのカンファレンス、育児相談員へ謝金の支払事務。 事業費は、育児相談員謝金、折り紙・画用紙等消耗品費。							総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
									都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源	149,000	
事業費計(A)		149,000									
人件費	正規職員従事人数	7									
	延べ業務時間	282									
	人件費計(B)	1,128									
トータルコスト(A)+(B)		150,128									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 月1回、つどいの広場と合同開催。平均10組の親子が参加。計測、育児相談、栄養指導、言語相談、手遊び、絵本の読み聞かせ、自由遊び。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 平成22年度から、会場を保健介護センターに戻し、1歳6か月児健診で経過観察が必要と判断された幼児とその保護者を中心に教室を実施する予定。		名称	単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 発達、育児に関する相談を希望する乳幼児とその保護者。健康診査の結果、経過観察が必要な乳幼児とその保護者。		ア	のびっこ教室の開催回数	回
		イ		
		ウ		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 相談することで、発育・発達や育児不安を軽減し、のびのびとした子育てができる。		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
		名称	単位	
		カ	のびっこ教室の延べ相談乳幼児数	人
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 子育てに関する不安や悩みを軽減・解消してもらう。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称	単位	
		サ	参加者の満足度(アンケート)	%
		シ		
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	176	135	159	148	149	149
	事業費計(A)		千円	176	135	159	148	149	149
	人件費	正規職員従事人数	人	1	5	6	7	7	7
		延べ業務時間	時間	130	283	300	282	300	300
		人件費計(B)	千円	520	1,132	1,200	1,128	1,200	1,200
	トータルコスト(A)+(B)		千円	696	1,267	1,359	1,276	1,349	1,349
活動指標	ア	回	12	12	12	12	12	12	
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	人	300	210	250	149	107	300	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	%	100	100	92.3	100	100	100	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0289	事務事業名	育児支援事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成9年に県から母子保健事業が委譲されたことをきっかけに、健診等で経過観察が必要とされた乳幼児とその親を対象として開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 虐待の問題が全国的に増加の傾向にあり、母子保健事業の充実、子育て支援の強化が求められている中、本市ではつどいの広場、地域子育て支援センター、子育てサポータースマイル等の活動が定着し、育児不安を気軽に相談できる場が増えたことから、のびっこ教室の参加者数が減少した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 良い点として、育児相談の機会が毎月確保されていること、友達をつくる機会となっていることなどが挙げられている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は本市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 育児不安を軽減することが、児童の健全育成に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 母子保健法第10条により、市が保健指導を行うことと定められている。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 現在の参加者層は、健診後、経過観察が必要な児を支援する目的に沿っておらず、事業内容等見直す必要がある。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 本事業を知らずに、育児不安を抱えたまま過ごしている者も存在しているため、事業の周知を図る必要がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 定期的な経過観察や育児相談の場がなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘ 参加者のほとんどが1歳前の乳児であり、特に問題のない親子である。乳児の場合、検診や健康相談で医師や保健師に相談する機会が出生から1歳までの間に5回あるため、その他に相談を希望するのであればつどいの広場等で対
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 育児相談員として、元小学校教諭・保育士・保健師が従事している。保育士による紙芝居や手遊び等は好評で今後も継続したいが、つどいの広場と合同開催にしたことにより、つどいの広場スタッフ(2名)も加わっており、のびっこ教室参加者数の減少に伴い、スタッフ数が多いと感じるときもある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 相談や集団活動を行う最短時間で実施しているため、これ以上の削減は難しいが、今年度から他課職員及び関係機関に協力を依頼する予定のため、正職員の従事時間は削減できる可能性がある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 母子保健法に基づき実施しており、受益者負担は適正ではない。

事務事業ID	0289	事務事業名	育児支援事業
--------	------	-------	--------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>身体計測に制限を設けたため、のびっこ教室の参加者が激減した。のびっこ教室参加者は、つどいの広場にも参加したことがある人が多く、合同開催したことにより、つどいの広場内での様子もきくことができる点はよかった。地域子育て支援センターやつどいの広場等、子育てを支援する活動が盛んになってきていることから、今後、市として相談事業を継続するべきか検討が必要。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>他の子育てサークルの活動状況を把握し、本事業の参加者の利用も含め連携していく。つどいの広場の参加者とのびっこ教室の参加者が重複しているため、つどいの広場相談事業として保健師や栄養士が月1回相談に応じるという方法も検討していく必要がある。また、有資格者である育児相談員を今後どう活用するかという点での検討も必要。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>育児支援事業として唯一の本事業をつどいの広場と統合した場合、現在より相談機能の質を落とさない配慮が必要。より、つどいの広場スタッフとの連携が重要になる。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	国保年金課長
-------	--------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>事業目的は理にはなっているが、実施内容・方法等再検討の余地がある。</p>																																	
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上																																	
	維持			×																														
	低下		×	×																														
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>類似事業との統合を検討しつつ、事業は継続する。</p>																																		

5 最終評価結果

(1)行政経営推進会議等での指摘事項
